資料１

平成30年度　第1回
エコプラザ運営委員会

（平成30年8月23日）

※この写真は佐賀市エコプラザGoogleストリートビュー屋内版より抜粋したものです。

目　次

議題１　会議の公開について　3

議題２　年間スケジュールについて　4

議題３　佐賀市エコプラザの概要について　5

３－１　佐賀市の環境将来像　7
（１）環境施策の体系　8
（２）環境教育の推進　9

３－２　データで見る佐賀市のごみ　10
（１）佐賀市の人口　10
（２）佐賀市のごみの現状　11

３－３　エコプラザごみ減量啓発ゾーン業務　15
（１）施設見学案内　16
（２）講座・イベントの開催　17

３－４　エコプラザのあり方「集う・学ぶ・結ぶ」　20

議題1　会議の公開について

〇佐賀市審議会等の会議の公開に関する規程（抜粋）

（会議の公開基準）

第3条　審議会等の会議は、**次の各号のいずれかに該当する場合を除き、公開する**ものとする。

（1）　法令又は条例（以下「法令等」という。）の規定により会議が非公開とされている場合

（2）　佐賀市情報公開条例（平成17年佐賀市条例第19号。以下「条例」という。）に規定する非公開情報に関し、審議等をする場合

（3）　公開することにより、会議の公正かつ円滑な議事運営に著しい支障が生ずると認められる場合

（公開又は非公開の決定）

第4条　審議会等の会議の**公開又は非公開の決定は、**前条の規定に基づき審議会等の長が**当該審議会等に諮って行う**ものとする。

2　審議会等は、会議を公開しないことを決定したときは、その理由を明らかにするものとする。

議題2　年間スケジュールについて

〇会議開催回数：1～2回/年　　〇会議時間：2時間程度/回

年月	内容	
平成30年8月23日	第1回運営委員会	・委嘱状交付 ・施設見学会
平成31年2月頃	第2回運営委員会	・平成30年度佐賀市エコプラザ事業実績報告 ・平成31年度に向けて
8月頃	※協議事項がある場合、必要に応じて開催する	
平成32年2月頃	第1回運営委員会	・平成31年度佐賀市エコプラザ事業実績報告 ・平成32年度に向けて
8月頃	※協議事項がある場合、必要に応じて開催する	
平成33年2月頃	第1回運営委員会	・平成32年度佐賀市エコプラザ事業実績報告 ・平成33年度に向けて
7月31日		任期満了

議題3　佐賀市エコプラザの概要について

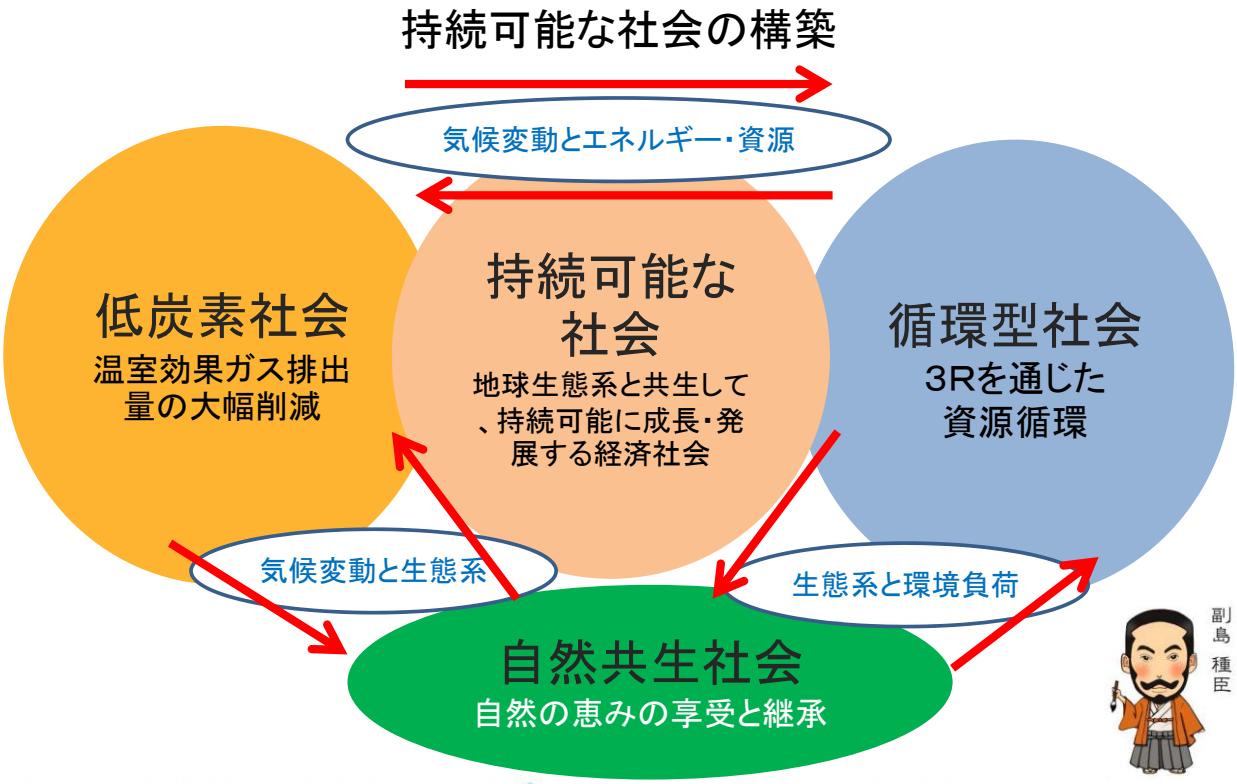
◎佐賀市エコプラザは

佐賀市の環境学習の拠点施設です

～環境にやさしい暮らしのヒントを、分かりやすく楽しく学べる、コミュニケーション施設です～

・平成15年8月開館
・平成28年2月リニューアルオープン
　1階：出会いのゾーン、再生ゾーン
　2階：環境学習ゾーン
　3階：工場見学ゾーン（企業連携ゾーン）
・開館時間：10時～17時
・休館日：水曜日、12／29～1／3まで

3－1　佐賀市の環境将来像



副島種臣

環境施策の体系　～基本目標と基本目標横断プロジェクト～

『守り、育み、未来をつくる　トンボ飛び交うまち　さが』（環境将来像）

望ましい環境像

施策の体系

基本目標	環境項目	施策の方向
1　地球温暖化を防止するまち（低炭素社会の構築） ◆めざす姿(成果目標) 市民や事業者、市民活動団体は、環境・エネルギー問題を意識し、温室効果ガスの排出削減に取り組んでいる。	1-1 地球温暖化防止対策の推進 (p47)	(1)市民・事業者の地球温暖化防止行動の推進 (2)低炭素型の交通環境整備 (3)低炭素・先進技術の導入
	1-2 再生可能エネルギーの普及促進 (p50)	(1)地域への再生可能エネルギーの普及推進
2　資源を活かす循環のまち（循環型社会の構築） ◆めざす姿(成果目標) 市民や事業者は、リデュースや廃棄物の適切な分別等に取り組み、廃棄物の発生を抑制している。	2-1 3Rの推進啓発 (p52)	(1)家庭系ごみのリデュースとリユース・リサイクル (2)事業系ごみのリデュースとリユース・リサイクル (3)ごみの減量の啓発推進
	2-2 ごみの適正処理 (p55)	(1)効率的な処理施設の運用 (2)収集体制の適正化 (3)民間施設の活用
3　水とみどりがあふれるまち（自然共生型社会の構築） ◆めざす姿(成果目標) 地域の自然・生物多様性を保全し、自然環境と人々の営みや歴史・文化とが調和した都市づくりが行われている。	3-1 清らかな水辺の確保 (p58)	(1)水辺空間の整備 (2)河川等の機能保全
	3-2 豊かなみどりの確保 (p60)	(1)森林の整備と保全 (2)農用地の確保 (3)緑地の創造と保全
	3-3 生物多様性の保全 (p63)	(1)希少種等の保全 (2)自然観光資源の保全と活用 (3)ラムサール条約登録湿地「東よか干潟」の保全とワイズユース
	3-4 自然環境と調和した都市づくり (p67)	(1)みどりや水と共存する都市景観の形成 (2)歴史や文化に根ざした環境の保全
4　安全で快適な生活環境のまち（生活環境の向上） ◆めざす姿(成果目標) 市民一人ひとりが、生活環境の向上に取り組み、安全で快適な生活を営んでいる。	4-1 身近な生活環境の保全 (p70)	(1)生活に密着した環境問題の改善 (2)市民清掃活動の推進と支援 (3)安全な水道水の安定供給
	4-2 生活排水の対策 (p72)	(1)下水等の処理 (2)し尿等の処理
	4-3 地域環境の保全 (p73)	(1)監視測定の実施 (2)公害等の発生の防止対策 (3)化学物質への対策

基本目標横断プロジェクト

バイオマス産業都市の構築 (p75)	環境教育の推進 (p77)
○	○
○	○
○	○
○	
	○
○	○
	○
	○
○	
○	

大木喬任

環境教育の推進

〜世代に応じた体系的な環境教育の実施〜 環境保全は『人づくり』から

自然環境
- 「トンボ王国・さが」づくり
- ラムサール条約登録湿地「東よか干潟」を活用した環境教育

市民生活等
- 環境保健推進協議会の取り組み（地域美化活動、ごみ減量啓発活動等）
- 家庭での環境教育（環境行動指針（市民編）の実践等）
- 事業所での環境教育（環境行動指針（事業所編）の実践等）
- 地域・社会での環境教育（子ども会、自治会、NPO、公民館、行政等の主催）
- エコプラザでの情報発信（環境に関する情報発信基地としてリニューアル）

学校生活等
- 幼稚園・保育所での環境教育
- 学校版環境ISO
- 環境学習の機会の創出
- 佐賀環境フォーラム
- 教育課程での環境教育

幼児 / 小中学生 / 高校生 / 大学生・市民 / 事業者

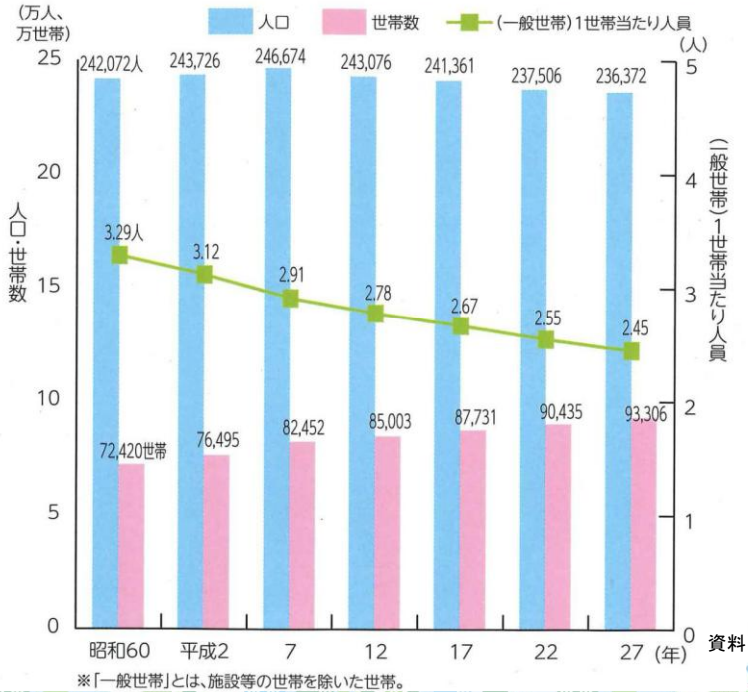
3−2　データで見る佐賀市のごみ

（1）佐賀市の人口

人口　234,197人　世帯数　99,176世帯

平成２９年９月末日現在（外国人含む）

■人口・世帯数・一世帯当たり人員の推移

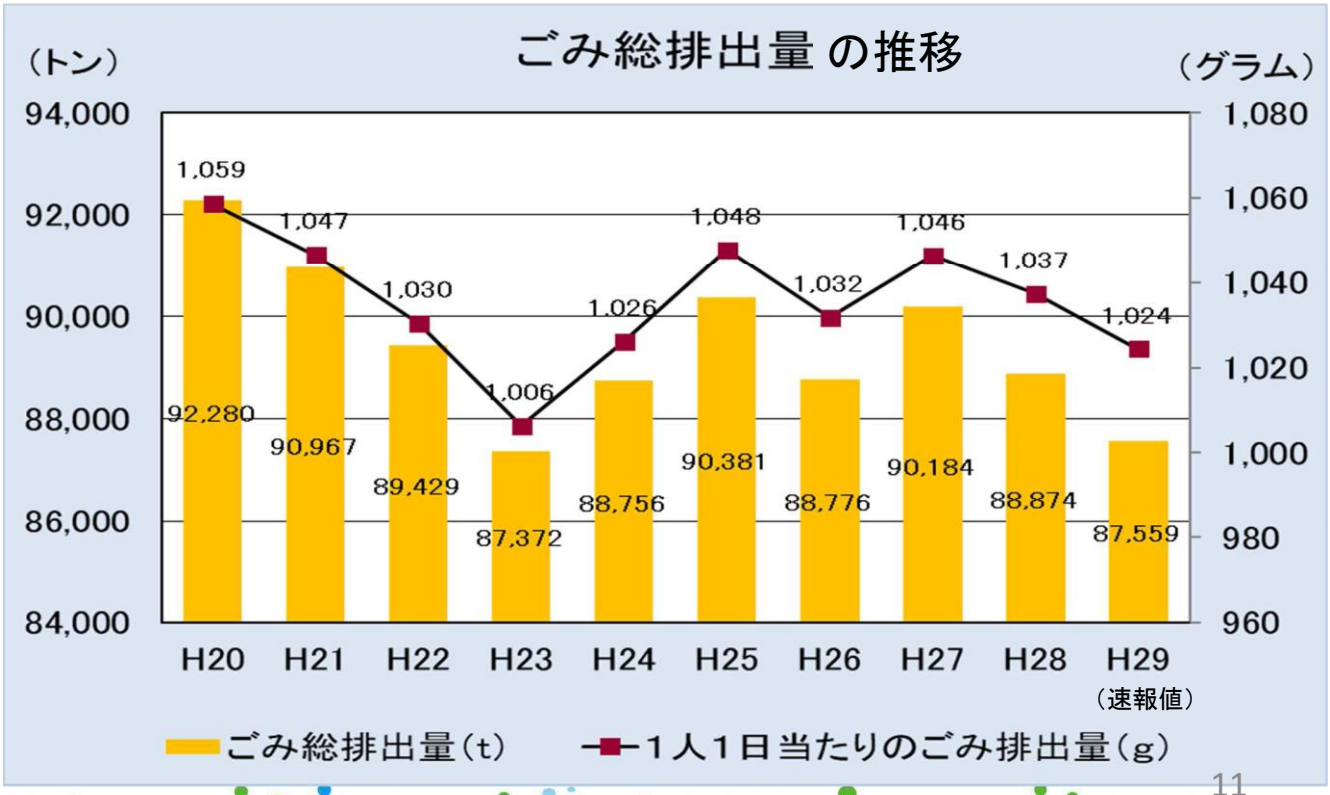


※「一般世帯」とは、施設等の世帯を除いた世帯。

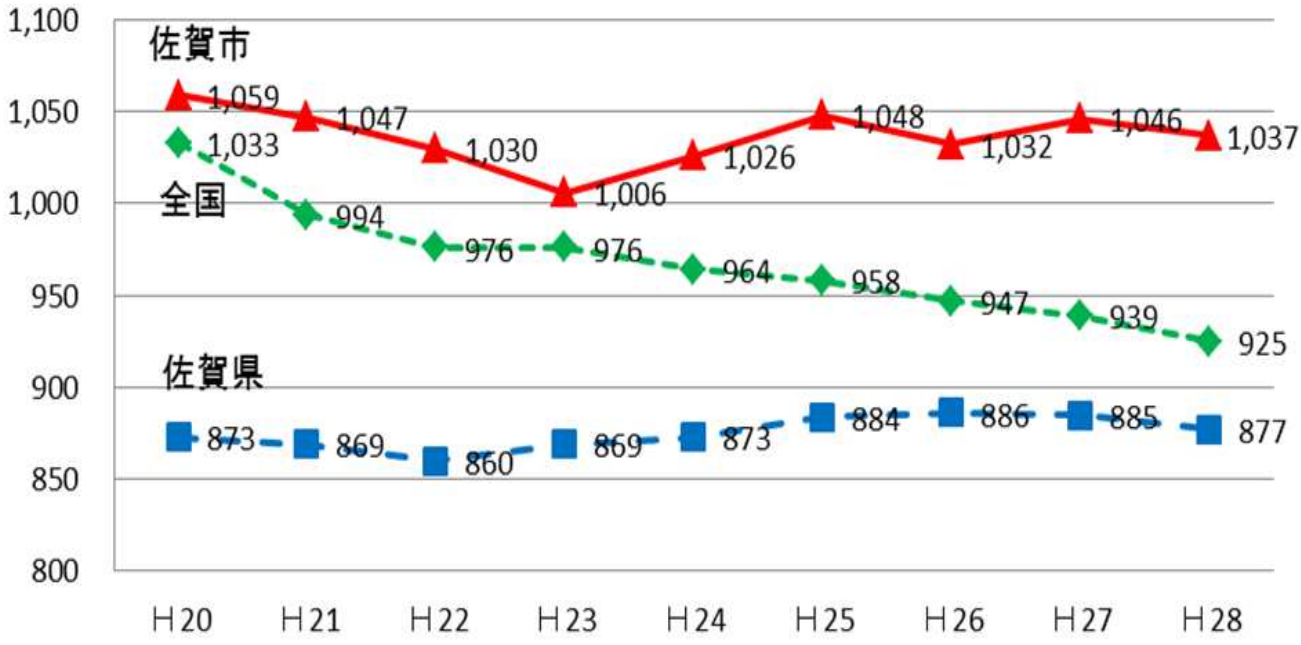
佐野 常民

資料：平成30年佐賀市のすがた

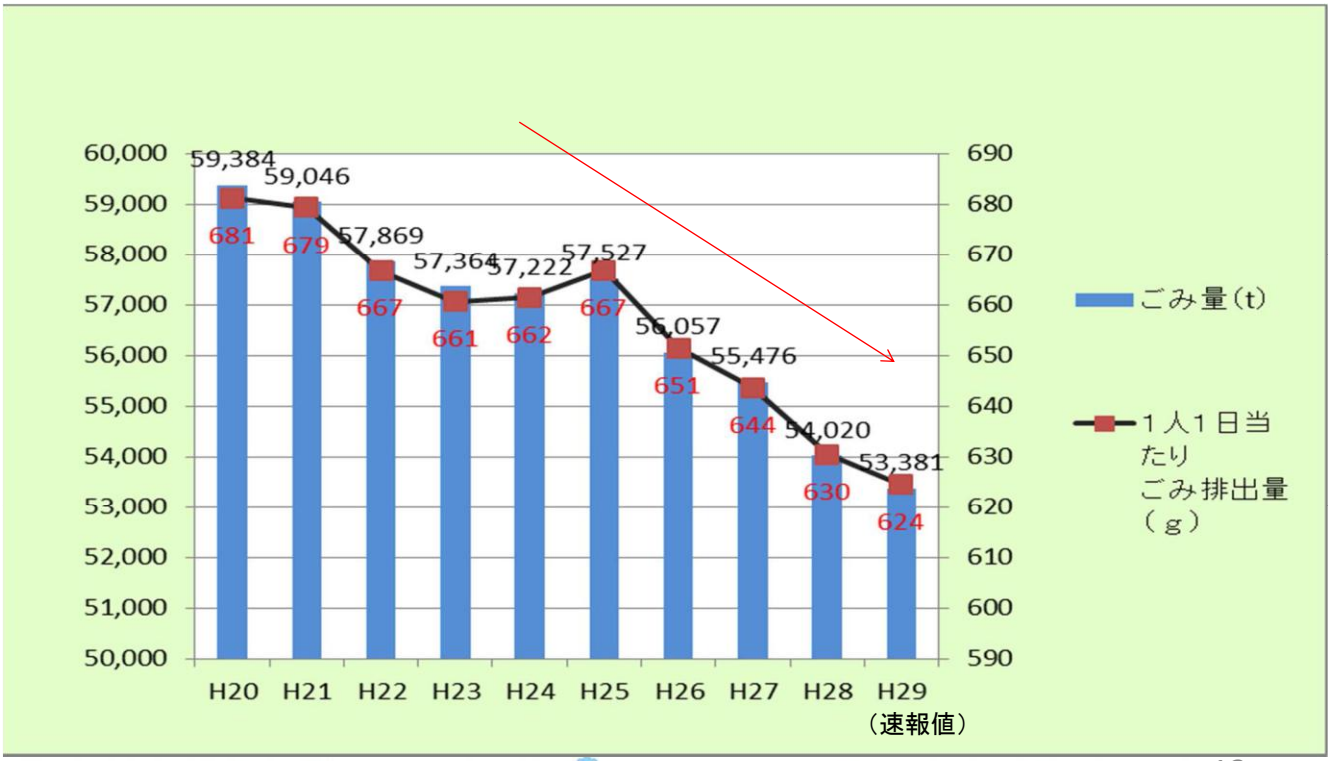
（２）佐賀市のごみの現状



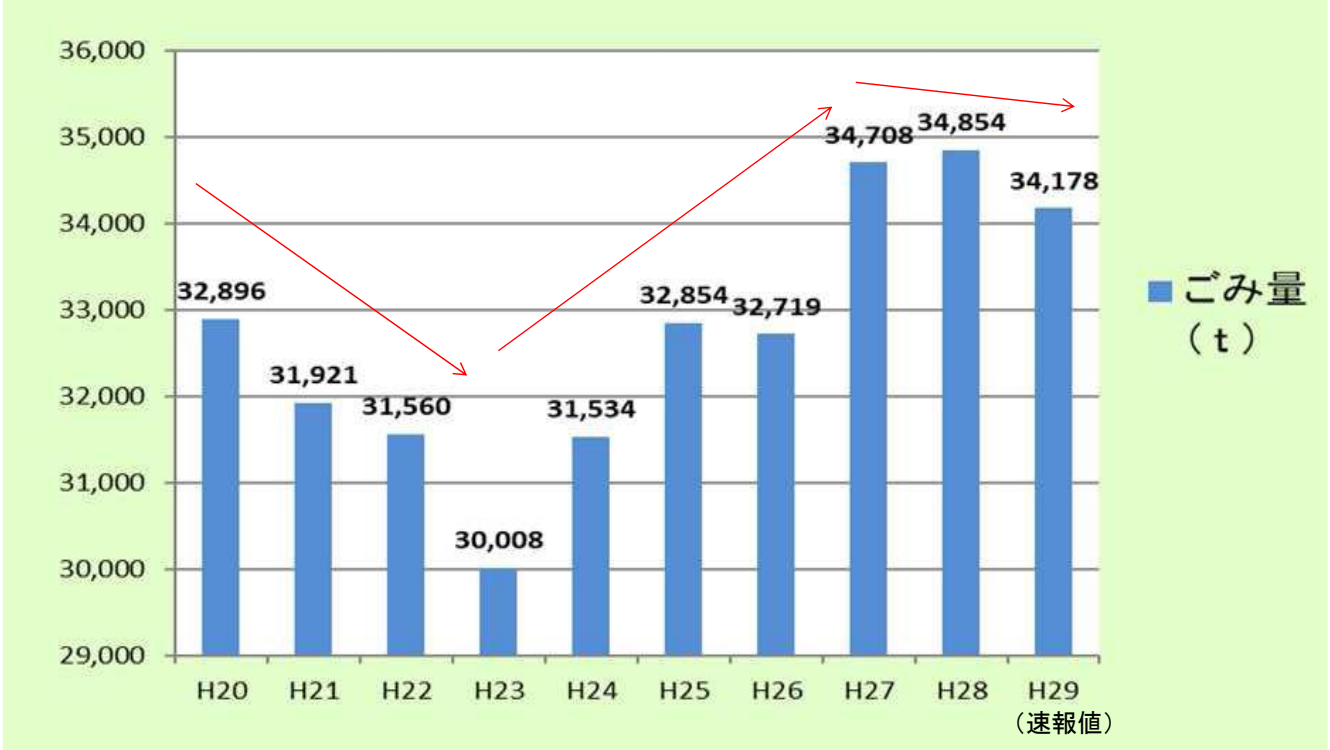
市民１人１日当たりのごみ排出量（佐賀市全体）



家庭系ごみ量の推移



事業系ごみ量の推移



３－３　エコプラザごみ減量啓発ゾーン業務

（NPO法人さが環境推進センターに委託）

１階再生ゾーンの運営

（1）施設見学案内
（2）講座・イベントの開催
（3）リペア（修理）
（4）リユース（廃棄物の有効利用）
（5）出張イベント
（6）広報活動
（7）情報の提供

（１）施設見学案内

▲自治会等の団体も見学に訪れる

▲佐賀市内・外から小学４年生が施設見学に訪れる

（２）講座・イベントの開催

月8回程度開催

▲マイエンザ学習会

▲紙すき体験

▲おもちゃ病院

▲糸つむぎ体験

▲きもの着付けレッスン

▲残り毛糸リメイク

エコマーケット

毎月第3日曜日　10時～14時
3階渡り廊下で開催

家庭からの排出抑制、リユースの促進イベント

市報等で募集した出店者による
フリーマーケット（最大25区画）

エコマーケットを利用して、
みんなのおうちに眠る不要品に、
もう一度活躍の場を！

食バザー

エコマーケットに合わせて開催。
使用する食器は、
使い捨てでなくデポジット方式で
貸し出し、返却時は、ウェスで拭いて
返してもらう。

エコプラザ総来館者数

（平成３０年３月３１日現在）

年度	施設見学							会議室利用					
	団体		個人	視察		小計		2階会議室		環境ラボ		小計	
	団体	人数	人数	団体	人数	団体	人数	団体	人数	団体	人数	団体	人数
H26	118	4,953	—	—	—	118	4,953	—	—	—	—	—	—
H27	123	4,690	—	82	765	205	5,455	100	2,397	—	—	100	2,379
H28	134	5,597	739	78	1,055	212	7,391	161	5,285	36	185	197	5,470
H29	143	5,375	974	88	961	231	7,310	176	6,110	57	244	233	6,354

年度	エコプラザ事業											合計（総来館者数）
	個人来館	その他（まな板削り、レンタル等）		講　座		イベント（エコマーケット、食バザー等）		イベント（サマーDO）		小計		
	人数	回数	人数	回　数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	
H26	16,716	—	※イベントに含む	—	655	—	5,866	—	—	111	23,237	28,190
H27	17,241	—	※イベントに含む	—	623	—	7,025	—	—	108	24,889	32,741
H28	15,879	55	216	63	697	29	5,659	17	550	164	23,001	35,862
H29	17,099	70	367	85	656	26	4,519	11	918	190	23,559	37,223

３－４　エコプラザのあり方「集う・学ぶ・結ぶ」

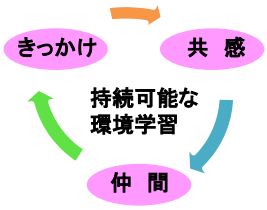
第3ステップ

結ぶ

仲間づくり

環境学習の拠点施設 （環境テーマ型の公民館化）

市民・地域（自治会・PTA等）・公民館・学校・企業・行政・環境団体等を結ぶことで、
集団（社会）行動へと繋ぐ
- ・事業活動報告会、企業セミナー等の誘致
- ・環境ビジネスマッチング
- ・子どもクラブなどの団体に環境団体を紹介（イベント実施）



第2ステップ

学ぶ

共感づくり

- ・出前講座メニューの充実
- ・公民館、学校等と連携した学習メニューの作成
- ・環境学習会の実施　など

考える・行動する

- ・企業、環境団体（NPO）との連携
- ・環境に関する様々な情報の提供

第1ステップ

集う

きっかけづくり

- ・施設見学のメニュー化
- ・「学ぶ」要素を持った講座・イベント実施
- ・利活用イベント実施（他団体協働型）
- ・利活用イベント実施（他団体誘致型）

環境学習体制の整備

- ・市報の活用
- ・ホームページの充実
- ・チラシの活用
- ・各種メディアの活用
- ・記者投げ込み

戦略的な広報活動

- ・2階会議室
- ・環境ラボ
- ・企業連携ゾーン
- ・情報収集

館内施設の利活用

「協働」と「誘致」で「きっかけづくり」

環境団体
様々な環境問題
について啓発したい

×

エコプラザ
市民を広く
巻き込みたい

×

**企業等
その他団体**
イベントをしたいけど
会場がない

協働　　**誘致**

他の分野の環境問題についても知ってもらう「きっかけ」にしたい！

これまで環境問題にあまり関心がなかった人が
環境問題に触れる「きっかけ」にしたい！

環境について広く正しく知ってもらう！

Re-Style

限りある資源を未来につなぐ。
今、僕らにできること。